独立行政法人 労働者健康安全機構

東京産業保健総合支援センター研修案内（令和7年8月）

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録（無料）が必要です。
◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。
◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485
URL=https://www.tokyos.johas.go.jp

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

- **お1人様、月1回のみの受講となります。**
- **令和7年4月以降の認定産業医研修会をお申し込みされる産業医の方は医師会会員情報システム（MAMIS（マミス））の登録が必須となります。**
- **令和7年4月以降の単位付与はMAMISにより行います。単位シールの現物配付は禁止となります。**
- **MAMIS対応のため、ホームページの利用者登録に新たに「生年月日（西暦）」「性別」「医籍登録番号」が必要となりましたので、御登録をお願いします。**

日医認定産業医研修(令和7年8月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時		研修テーマ	単位
7月1日（火）	10時～	8月8日(金)	13時30分～16時30分	作業環境測定方法	実地3
	10時30分～	8月18日(月)	１４時～１６時	産業保健と法～産業医の誠実義務をめぐる法的リスクの検討～	更新2
	11時～	8月22日(金)	１４時～１６時	産業医がおさえておきたいハラスメント対策	専門2
7月2日（水）	10時～	8月28日(木)	１４時～１６時	小売業・飲食店における労働災害防止の進め方	専門2
	10時30分～	8月29日(金)	１４時～１６時	最近における産業保健関係法令等について	更新2

研修日時	研修テーマ	講 師	単 位	定員
8月8日(金) 13:30～16:30 申込受付日時 7月1日（火） 10時～	**作業環境測定方法** 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	小嶋 純	生涯・ 実地3	16
8月18日(月) 14:00～16:00 申込受付日時 7月1日（火） 10時30分～	**産業保健と法～産業医の誠実義務をめぐる法的リスクの検討～** 産業医は、労働者の健康管理等について誠実にその職務を行うことが求められています。これは、行政取締法規である労働安全衛生法によって義務付けられているものであり、事業者との契約内容に左右されるものではありません。 そこで、本研修では、産業医の誠実義務に焦点をあて、以下の事項を説明します。 ① 産業医の職務に関する法的な位置づけとリスクを確認し ② 労働行政の動向や法改正をキャッチアップしつつ、 ③ 実際に行政当局（労基署）の指導実務で問題が生じやすい事例を取り上げながら、どのように職務を行えば、誠実義務を果たしたことになるのか（法的留意点と適切な対応）	ニシワキ法律事務所 弁護士 西脇 巧	生涯・ 更新2	55
8月22日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 7月1日（火） 11時～	**産業医がおさえておきたいハラスメント対策** 職場におけるパワーハラスメント（定義）、ハラスメント問題の奥深さと注意点、ハラスメントの種類と現状について解説します。 また、以下のポイントについて解説し、事例や裁判例についても紹介します。 ①契約企業からハラスメント体制を整えたいとアドバイスを求められた場合のポイント ②契約企業からハラスメント事例の相談や対応を持ちかけられた場合のポイント	寺田 勇人	生涯・ 専門2	55
8月28日(木) 14:00～16:00 申込受付日時 7月2日（水） 10時～	**小売業・飲食店における労働災害防止の進め方** 小売業、飲食店の労働災害は未だ増加傾向にあり、わが国の労働災害防止推進上の大きな課題です。 本研修では、小売業、飲食店の労働災害を防止するため、職場巡視等に役立つ業態別の労働災害の特徴、労働災害を防止させた企業の労働災害防止対策の具体的な取り組み好事例、さらには、これら業種で最も多発している転倒災害を防止するため、転倒災害の心理的・内的要因、転倒経験者インタビュー調査結果、転倒リスクに係る身体機能低下の計測方法例、転倒予防体操事例、運動器外傷データを用いた転倒データ分析結果などを紹介します。	労働安全衛生総合研究所 新技術安全研究グループ 特任研究員 高木 元也	生涯・ 専門2	55
8月29日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 7月2日（水） 10時30分～	**最近における産業保健関係法令等について** 最近における法令改正・通達発出について学び、産業医が事業場に対して指導すべき事項を確認します。	石井 義脩	生涯・ 更新2	55

◆産業保健研修◆　産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて7月1日（火）10時～です。

<web研修>

◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、お申し込みください◆

研修日時	研修テーマ	講　師	定員
8月5日(火) 14:00～16:00	【web研修会】 メンタルヘルス対策と心の健康づくり計画作成のポイント 職場や業務に対して悩みやストレスを抱える社会人は、近年増加傾向にあり、メンタルヘルス対策の取り組みは、事業場にとって喫緊の課題の一つと言っても過言ではありません。 そこで、厚生労働省では、メンタルヘルス基本方針として、事業場に対して「心の健康づくり計画」の策定を指示しています。 当研修では、その「心の健康づくり計画」の策定方法、ポイント等を解説します。	本山社会保険労務士/ 行政書士事務所所長 特定社会保険労務士・ 行政書士・公認心理師 本山　恭子	70

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講　師	定　員
8月1日(金) 14:00～16:00	セルフケア支援にまつわるエトセトラ ～実践とセルフケア支援のツボとコツとを結ぶ～ セルフケアやセルフケア支援について、普段なにげなく言っていること、行っていることはどういったことなのか、どのようにしていくのが良いのか等を、あらためてふりかえり考えていきます。 両立支援におけるかかわり方にも通じる内容となっております。	松島　尚子	25
8月4日(月) 14:00～16:00	「職場」「在宅」でできる職場体操～「肩こり・腰痛予防　簡単骨ストレッチ」～ この講習会では、関節にふれながら「骨」「筋肉」「関節」を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介します。 骨ストレッチは、だれでも無理なく、短時間で、簡単にできる運動です。 「腰痛予防」「肩こり予防」に適した「座ってできる骨ストレッチ」8動作をお伝えします。 4動作行っても2分かからず、職場体操に適しています。 それぞれの企業に適した動作を選んで、職場体操を作成してみましょう。 ◆重要◆　からだを動かしますので、水分補給のため、飲み物をご持参ください	中災防安全衛生エキスパート スポーツケア整体研究所（株） 小沼　博子	25
8月6日(水) 14:00～16:00	高年齢労働者の安全衛生対策の進め方 ～エイジフレンドリーガイドラインとフレイル、ロコモ～ 休業4日以上の死傷者数のうち50歳以上の高年齢労働者が半数以上を占めています。 高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下しており、高齢になるほど転倒災害の発生率が高くなることに影響していると考えられています。 また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。 厚生労働省は、「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）」を公表しています。 最近では、転倒を予防するために、フレイル、ロコモーションシンドローム（ロコモ）予防を意識した健康づくり活動が重要視されてきています。 これらの要点と留意事項を説明します。	荒川 輝雄	55
8月20日(水) 14:00～16:00	「適応障害」の診断、メンタルヘルス不調の実際の支援にむけて ～個の背景、状況を知ること、アセスメントの深堀での回復支援とは～ メンタルヘルスのリテラシーというように、周りの理解が進んできている現状、ある意味治療、休職等への早い対策が取れるようになってきたのではないかと思われます。 予防するに越したことはないですが、人との関係、社会構造等の複雑さが、一様にことが進まない状況もあるでしょう。個の生い立ち、家族、事業場における、地域社会における背景のなか、その支援のあり様が、回復にむけて大事なポイントになるように思います。 個の多様化というか、違いがあるからこそ大変さもあります。 皆さんの思いや考えはいかがでしょうか。一緒に考えていきましょう。	労働者健康安全機構産業保健 アドバイザー 公認心理師 菅野　由喜子	55
8月25日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルス『社内研修の進め方』　～ラインケア～ 「心の健康づくり計画」は4つのケアを中心に策定されており、社内研修はその理解を深める教育・情報提供の場となります。 加えて4つのケアの円滑な「連携」をすすめていくことが必要とされており、最近のメンタルヘルスの動向を踏まえて、ラインケアの必要性が再認識されています。 今回は、アンガーマネジメントも含めて、有効なメンタルに関するマネジメント方法等を解説します。 社内研修の参加者から関心、興味を集める社内研修の進め方についてご一緒に考えていきたいと思います。	松井　知子	55

8月26日(火) 14:00～16:00	**安全衛生法令の改正動向** 個人事業者に対する安全衛生法令の適用や新しい化学物質管理制度など大きな改正が続いています。 本年5月の国会で改正労働安全衛生法の改正法が公布されました。本改正では個人事業者に安全衛生対策の推進、ストレスチェック適用拡大、化学物質による健康障害防止対策等の推進などが行われ、今後順次施行される予定です。 今回はここ数年の改正動向を含め、今後の安全衛生法の動向について考えてみたいと思います。 ※当研修の後15:45～16:00の時間帯に、動画視聴による「勤務間インターバル制度に係る研修」を行います。	中山 篤	55